

男子決勝 7月20日(日) 13:40 寒河江市民体育館

山形市立第四	51	14-9	54	山形市立第六
		15-10		
		10-18		
		12-17		

【戦評】

山形市勢同士の決勝は男女同一カードとなった。

第1Q 両チームハーフマンツーマンでスタートする。ゲームの入りはお互いに動きが固く、2分間ノーゴールが続く。六中⑫のフリースロー、⑨の速攻が決まりゲームが動く。四中は⑩のゴール下、⑥のバスケットカウントが決まり残り4分5-5。さらに四中⑤の3pとジャンプショット、⑦のミドルシュートで加点するが六中は⑨、④のドライブで対抗し、14-9で第1Q終了。

第2Q、四中⑤の3pでスタート。一方六中は⑫、⑬がフェイスガードで守られ、オフェンスのリズムがつかめない。逆に四中は⑧のリバウンドショット、⑥のドライブで効果的に加点する。たまたま、六中は残り7分21-9となったところで1回目のタイムアウトを請求し立て直しを図る。タイムアウト後、六中⑫のカットインでようやくゴールが決まる。四中⑥、六中⑫の1対1からオフェンスが展開されるが、四中は⑧の3pなどで残り3分26-14とする。六中⑬、④がドライブを仕掛けフリースローをもらうがなかなか決まらない。終了間際六中⑫のフリースロー、⑬の3pが決まり29-19で前半終了。

第3Q 六中はハーフマンツー、四中は引き続きハーフマンツー&⑫、⑬にフェイスガードでスタート。四中⑥、六中⑬の得点でゲームが動く。六中は⑫、⑨のショットで点差を縮め、残り5分33-27と追いつける。四中が⑥のゴール下を決めれば、対する六中も⑨のドライブ、⑫のレイアップ、ドライブで反撃し、残り1分36-35と追いつける。四中は六中の厳しいディフェンスにシュートが決まらず、ついに六中⑨ジャンプシュートで逆転に成功。しかし、3p終了間際の四中⑤の3pブザービーターが決まり、39-37の四中2点リードで最終Qへ突入する。

第4Q、六中⑨のミドルシュートでスタートすれば、四中も⑤のミドルシュートで対抗。しかしその後すぐに六中は④のドライブでバスケットカウントが決まり逆転、流れを引き寄せる。四中は⑤のフリースローで加点するが、六中は④のドライブ、⑫のバスケットカウントで残り4分47-42とリードする。⑫の緩急のあるドライブで49-42となったところで四中1回目のタイムアウトを請求する。四中は⑥のドライブが決まると1-2-2ゾーンプレスで勝負に出る。しかし、ここで六中⑬の3pが決まり52-44となったところで四中2回目のタイムアウト。すぐさま四中⑤の3pで追いつける。そして四中⑥のドライブで残り1分52-49とし、続けて⑥がフリースローをもらい残り40秒で六中1回目のタイムアウトを請求。四中⑥のフリースローが2本が決まり52-51。そして四中はディフェンスでプレッシャーをかけ、ボールを奪い最後のオフェンスに懸けるが、四中⑥のゴール下が外れ、万事休す。ラスト六中⑨がドライブを決め、タイムアップ。54-51で六中が6年ぶりの優勝を勝ち取った。

激しいディフェンスから外中バランスよく得点した四中と冷静にゲームをコントロールし、要所で流れをつかんだ六中の好ゲームであった。両チームの健闘に拍手を送りたい。

【山形県バスケットボール専門委員 熊谷 圭太】